

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	統合分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	看護管理		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) <small>時間(単位)</small>
対 象 学 年	3年次		学期及び曜時限	前期	教室名	各教室
担 当 教 員	田中真美 他	実務経験と その関連資格	島根大学医学部附属病院副院長 看護部長 認定看護管理者			
《授業科目における学習内容》						
質の高い看護を提供するためのマネジメントの目的や方法を学習し、看護をマネジメントできる基礎的能力を養うと共に、医療チームに関わる多職種との協働の中での看護師の役割を理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験(90%)・レポート課題提出状況等(10%)で総合的に評価する						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
系統看護学講座 専門基礎 看護管理 看護の統合と実践① 医学書院						
《授業外における学習方法》						
指定した教科書を事前に読んでおくこと 授業終了時に示す課題を実施しておくこと						
《履修に当たっての留意点》						
看護管理は非常に幅広い範囲の内容であるが、看護の質の向上には欠かせなく、看護師の業務にとっては重要なものである。指定した教科書の内容は必ず事前に読んでおくこと理解は得やすい						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	授業を 通じての 到達目標	看護管理の定義と基本的要素、看護におけるマネジメントの考え方について学び、その重要性を説明できる		看護管理 看護者の基本的責 務 AV機器	課題「看護管理の定義と基本的要素」を次回提出する	
	各コマに おける 授業予定	看護管理学とは(看護管理の定義、概念構成、基本的要素、マネジメントの場、マネジメントの考え方の変遷と看護におけるマネジメント等)				
第 2 回	授業を 通じての 到達目標	看護ケアのマネジメントと看護職の機能、患者の権利の尊重、安全管理等について学び、その概要を説明できる		看護管理 AV機器	課題「看護ケアのマネジメントと看護職の機能、患者の権利の尊重」を次回提出する	
	各コマに おける 授業予定	看護ケアのマネジメントと看護職の機能 患者の権利の尊重 安全管理と医療事故対策・院内感染対策・災害の予防と対応				
第 3 回	授業を 通じての 到達目標	看護ケアのマネジメントとしてのチーム医療についてGWを通して学び、その必要性を説明できる		看護管理 AV機器	課題「チーム医療の必要性と看護職の課題」を次回提出する	
	各コマに おける 授業予定	チーム医療の定義、チーム医療に必要な機能、多職種連携と協働				
第 4 回	授業を 通じての 到達目標	看護ケアのマネジメントとしての日常業務のマネジメントについて学び、その概要を説明できる		看護管理 AV機器	課題「看護業務の定義、看護基準と看護手順、クリニカルパス、情報の活用、日常業務のマネジメント」を次回提出する	
	各コマに おける 授業予定	看護業務の定義、看護基準と看護手順、クリニカルパス、情報の活用、日常業務のマネジメント				
第 5 回	授業を 通じての 到達目標	看護職のキャリアマネジメント(看護職のキャリア形成、タイムマネジメント、ストレスマネジメント)について学び、その必要性を説明できる		看護管理 AV機器	課題「看護職のキャリア形成、タイムマネジメント、ストレスマネジメント」を次回提出する	
	各コマに おける 授業予定	キャリアとキャリア形成、看護職のキャリア形成、タイムマネジメント、ストレスマネジメント				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	看護の定義を学び、看護を取り巻く諸制度について理解し、説明することができる。	看護管理 AV機器	課題「看護職のキャリア形成、タイムマネジメント、ストレスマネジメントの必要性」を次回提出する
		各コマに おける 授業予定	看護の定義 看護職(看護の定義、看護職と専門性、看護職と法・制度、看護職の職業倫理、看護職の教育制度、より専門性の高い看護職の養成、修業場所就業数) 医療制度		
第7回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	看護サービスのマネジメントの目的と組織目的達成のための提供のしくみづくりについて学び、その必要性を説明できる	看護管理 AV機器	課題「看護サービスのマネジメントの定義、目的、組織達成のための方法」を次回提出する
		各コマに おける 授業予定	看護サービスのマネジメントの定義、目的、組織達成のための方法 看護サービス提供のしくみづくり		
第8回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	マネジメントに必要な知識と技術と看護を取り巻く諸制度について学び、その必要性を説明できる	看護管理 AV機器	課題「マネジメントに必要な知識と技術、看護職の専門性の重要性」を次回提出する
		各コマに おける 授業予定	マネジメントに必要な知識と技術 マネジメントプロセス、リーダーシップとマネジメント、組織の調整 看護を取り巻く諸制度(看護職の定義・法的責任・職業倫理・教育制度・看護職の専門性等)		
第9回		授業を 通じての 到達目標			
		各コマに おける 授業予定			
第10回		授業を 通じての 到達目標			
		各コマに おける 授業予定			
第11回		授業を 通じての 到達目標			
		各コマに おける 授業予定			
第12回		授業を 通じての 到達目標			
		各コマに おける 授業予定			
第13回		授業を 通じての 到達目標			
		各コマに おける 授業予定			
第14回		授業を 通じての 到達目標			
		各コマに おける 授業予定			
第15回		授業を 通じての 到達目標			
		各コマに おける 授業予定			